

岐阜大学における令和3年度後学期の 授業実施状況等について

①感染予防策を徹底した対面授業の実施

キャンパス内のワクチン接種率が8割近くになったことを踏まえ、大学としての感染リスク管理を徹底したうえで、原則として対面形式にて授業を実施しています。



<主な感染予防策>

1. 教室内の密集を避けるため、1m程度以上の間隔をあけて着席しています。
2. マスク着用や手指消毒、換気を徹底しています。
3. 教室内の着席位置と着席者を記録しています。
4. 通学バスの密集状態を避けるため、路線バスを増便しています。
5. 食堂でも座席を減らし、パーティションを設置しています。



②新型コロナウイルスワクチンの接種状況

岐阜大学では、5～6月に医療従事者先行接種、7～8月に大学職域接種を行い、学生や教職員への新型コロナウイルスワクチンの接種に取り組んできました。特に、職域接種では、本学のみならず近隣の大学・短期大学・高専の学生や教職員も受け入れ、6,500人以上に接種を行い、地域社会に貢献することができました。